

事業の概況(上半期)

億円未満は切り捨てて表示しております

販売電力量の概要

“契約電力の減少などから前年同期比3.8%減”

平成29年度上半期の販売電力量は、前年に比べ春先の気温が低かったことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少や夏場後半の気温が低かったことによる冷房需要の減少などから、前年同期に比べ3.8%減の339億6千万キロワット時となりました。

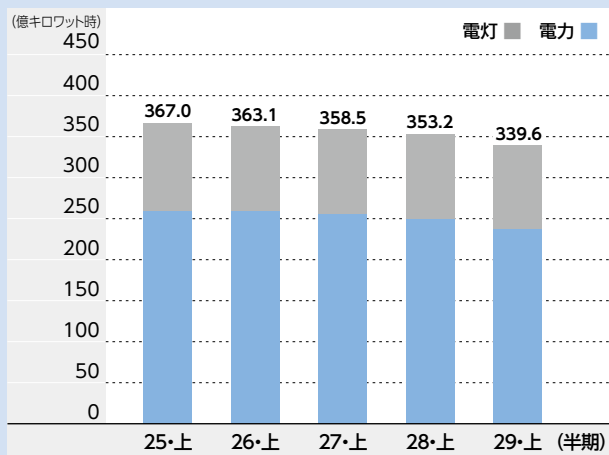
このうち電灯需要については、前年同期に比べ1.8%減の101億9千万キロワット時、電力需要については、前年同期に比べ4.7%減の237億7千万キロワット時となりました。



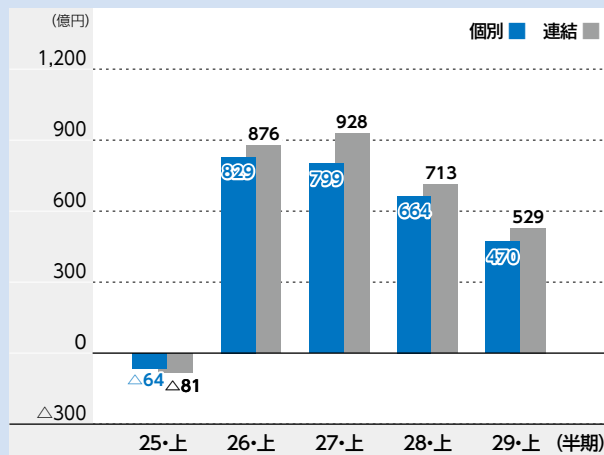
お客様のニーズにお応えする提案活動の様子



■販売電力量の推移



■経常損益の推移



収支の概要

“前年同期に比べ増収減益”

平成29年度上半期の連結収支は、収益面では、当社において、販売電力量は減少したものの、地帯間・他社販売電力料が増加したことや、太陽光の購入電力量の増加に伴い「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に基づく再エネ特措法交付金が増加したことなどから、売上高（営業収益）は前年同期に比べ413億円（4.4%）増の9,812億円、四半期経常収益は前年同期に比べ430億円（4.6%）増の9,849億円となりました。

一方、費用面では、減価償却費は減少したものの、太陽光の受電量の増加に伴い購入電力料が増加したことや、燃料価格の上昇により燃料費が増加したことなどから、四半期経常費用は前年同期に比べ613億円

（7.1%）増の9,319億円となりました。

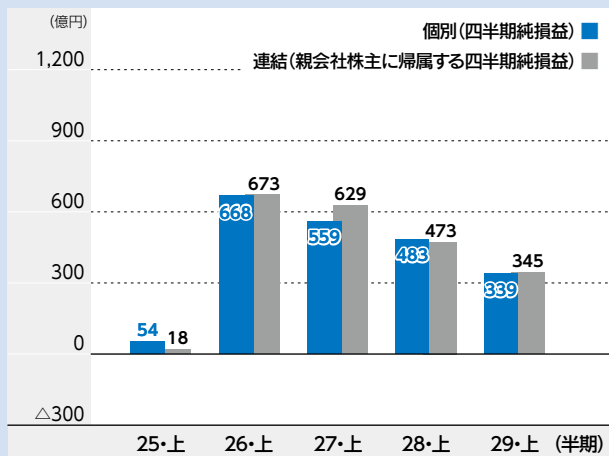
この結果、経常利益は前年同期に比べ183億円（25.7%）減の529億円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ127億円（26.9%）減の345億円となりました。

なお、個別（当社単独）の経常利益は470億円、四半期純利益は339億円となりました。

中間配当金は、上記の決算の状況や自己資本比率（連結）25%以上とした財務目標達成への取り組みなどを総合的に勘案し、1株につき20円とさせていただきます。なお、期末配当金については、1株につき20円とさせていただきますと予定としております。

■ 四半期純損益または親会社株主に帰属する
四半期純損益の推移



■ 1株当たりの配当金の推移

